

冬道の転倒防止「砂入りペットボトルの作成・配布」(中学部・高等部)
～紋別養護学校と紋別協働型道路マネジメントとの取り組み～

1 取組の概要について

平成24年度から、「紋別協働型道路マネジメント」(北海道開発局網走開発建設部、紋別市役所土木課、市内女性団体「ローズヒップス」、紋別市内道路維持管理業者)と協働して、総合的な学習の時間や作業学習の取組で、「砂入りペットボトル」の砂入れ作業、市民への配布活動を行っています。

2 これまでの経緯

年 度	取 組
平成 24 年度 (2012 年度)	・紋別養護学校と紋別協働型道路マネジメントが共同した砂入りペットボトル配布事業開始。
平成 25～27 年度 (2013～2015 年度)	・紋別養護学校近郊(大山町)の公共施設及びコンビニエンスストアでの配布を行う。
平成 28 年度 (2016 年度)	・紋別養護学校近郊(大山町)の町内会の協力を得て、町内会の各家庭を訪問し、配布を行う。
平成 29～30 年度 (2017～2018 年度)	・配布先を紋別市内中心部に移し、市内公共施設(市役所、郵便局など)への配布や氷紋の駅への買い物客への配布を行う。
令和 1～2 年度 (2019～2020 年度)	・市内公共施設(市役所、郵便局など)への配布を行う。 ・氷紋の駅やイオン紋別店に砂入りペットボトルの設置。 ・北方建設から受注作業の実施。

3 今年度の学習の様子

(1) 砂入れ作業

中学部は、地域の方と協力しながら、500mlペットボトル約470本ペットボトルに砂入れをしました。高等部は、複数の地域企業から受注という形で、1.8Lと4Lペットボトル合計413本の砂入りペットボトルを作成しました。



【中学部】



【高等部】

(2) 紋別市内への配付

中学部生徒が Rosehips、北海道開発局網走開発建設部の方など地域の方と一緒に紋別市内をまわり、お世話になっている施設に砂入りペットボトルを手渡しました。受け取った地域の方からは「毎年使っている。」「楽しみに待っていた。」などの声があり、生徒は自分達の活動が地域に役立っていることを実感できる、貴重な体験となりました。



(3) 紋別警察への贈呈式

作成した砂入りペットボトルを紋別警察署の方に贈呈しました。紋別警察の方からは「砂入りペットボトルは事故があったときに活用するなど、紋別市民や警察の安全を守るために役立っている。」と感謝の言葉をいただきました。



【中学部】



【高等部】

(4) 北方建設産業株式会社の見学、受注式、納品式

高等部生徒は、作成する砂入りペットボトルが地域でどのように役立っているか、受注先の企業を知ることなどを目的に、北方建設産業株式会社を見学しました。後日、同代表取締役社長谷内氏、たもと商事代表田元氏らに来校いただき、受注式を行いました。3週間後の納品日に再度来校いただき、作成した砂入りペットボトルを直接納品しました。



【会社見学】



【受注式】



【納品式】